



「ランサムウェア(身代金要求型ウイルス)」

5月12日、病院や企業などのコンピュータシステムを狙ったサイバー攻撃が全世界で同時多発的に発生しました。この攻撃に使われたコンピュータウイルスは「ランサムウェア」と呼ばれるものです。厳密に言えば経済用語ではありませんが、その重要性を考慮し、緊急的に本欄で取り上げます。

1. 「ランサムウェア」とは

メールの添付ファイルを開いたりリンク先へのアクセスなどにより感染する不正プログラム的一种です。1台のパソコンが感染するとネットワーク上のサーバ・パソコンなども次々と感染します。ファイルを暗号化、ロックして使用できないようにし、ロック解除のため金銭支払い〔ランサム (ransom) : 身代金〕を要求してきます。ただし、金銭支払いをしてもロック解除されないことも多いといわれています。

2. 今回の被害状況について

150カ国で30万件以上の被害が報告されています。イギリスでは病院の情報システムが感染、「患者のカルテが使えない」と予定していた手術を延期せざるを得ないなどの深刻な影響も発生しました。日本では日立製作所やJR東日本など、600カ所・2,000端末が感染したといわれています。

3. 感染しないための対策

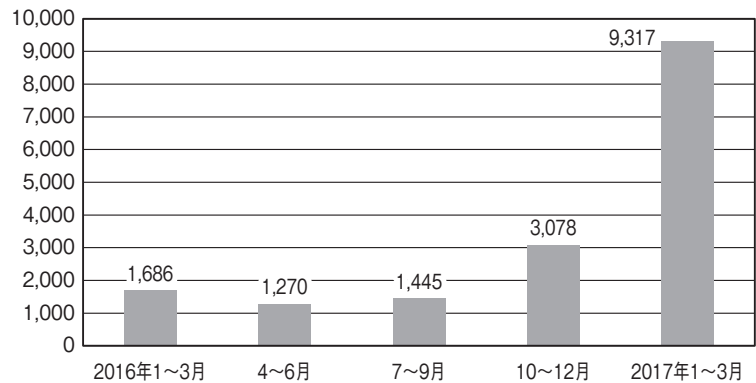
まずは、ウイルス感染を防ぐシステム環境の整備が重要です。あわせて、メール開封などには細心の注意が必要です。具体的には下記のような点に留意してください。

- (1) Windows アップデート(修正プログラムの適用)を行う。
- (2) ウイルス対策ソフトの更新により常に「最新版」の状態にする。
- (3) メールの開封は慎重に行う(特に週末明けの朝など)。不審なメールは開封しない。
- (4) 心当たりがないメールの添付ファイルは開かない(実在する組織に成りすましたメールもあるので要注意)、リンクはアクセスしない。

4. 万一、感染してしまったら…

すぐに当該パソコンをネットワークから切断して専門家に相談してください。上記のとおり、被害にあった場合、金銭を支払ってもロック解除されとは限りません。重要データは定期的にバックアップファイルを複数作成し、ネットワークに常時接続されていない記憶装置・媒体などや「クラウドストレージサービス」利用により保存するなど、致命的な被害を防止するため、「もしも」の場合に備えることが重要です。

<参考> 4半期ごとのウイルス検出数の推移



独立行政法人情報処理推進機構

「コンピュータウイルス・不正アクセスの届け出状況及び相談状況」

閑話ひとつ

- ▶ 仕事で山形県に出張させていただき、観光地にも(視察です)立ち寄ることができました。そこで驚かされたのは、お土産の試食品の多さです。まず味見して、気に入ったら買ってください。という商売魂が店員さんたちの対応からも伝わってきました。
- ▶ 今まで、観光地で気にはなるけど味はどうか?と買わずにスルーしたお土産や、いかにもおいしそうなパッケージにつられ買ってきたものの、食べてガッカリした経験が度々ありますが、山形県ではそのような失敗は少なそうです。また、果物の加工食品も種類が豊富で、6次産業化が進んでいる印象を受けました。これは想像ですが、地政学的な要因から地域で努力を重ねてきた結果なのかもしれません。
- ▶ 東北中央自動車道が開通すると、米沢や山形がより身近になります。皆様も是非お出かけいただき、福島の観光地が切磋琢磨できるよう交流を深めたいものです。(MW)